JSCVS

U-40

The Japanese Society for Cardiovascular Surgery

Under Forty

全体代表幹事　田中千陽

日本心臓血管外科学会
U-40の紹介

U-40とは?

2014年2月に日本心臓血管外科学会主導で発足した、満40歳以下の会員全員で構成される正式な学会内の組織

U-40の構造

全国8支部に分けられ、それぞれの支部には理事会によって承認された支部代表および幹事が任命され、活動を行う

どのような活動をしているの？

技術向上

- BLC
- ALC
- 先天性心疾患
- 基本技術定量評価

学術

- BLC
- コラム
- 勉強会、研究会の開催

キャリア

- 労働環境
- 働き方改革
- 女性外科医キャリア

Off The Job Trainingが専門医取得のために必須となった

新規受験者は2022年8月31日までに30時間の取得が必須

→ <u>ハンズオンの重要性が高まる</u>

U-40 ではBasic ＆Advanced Lectureを開催

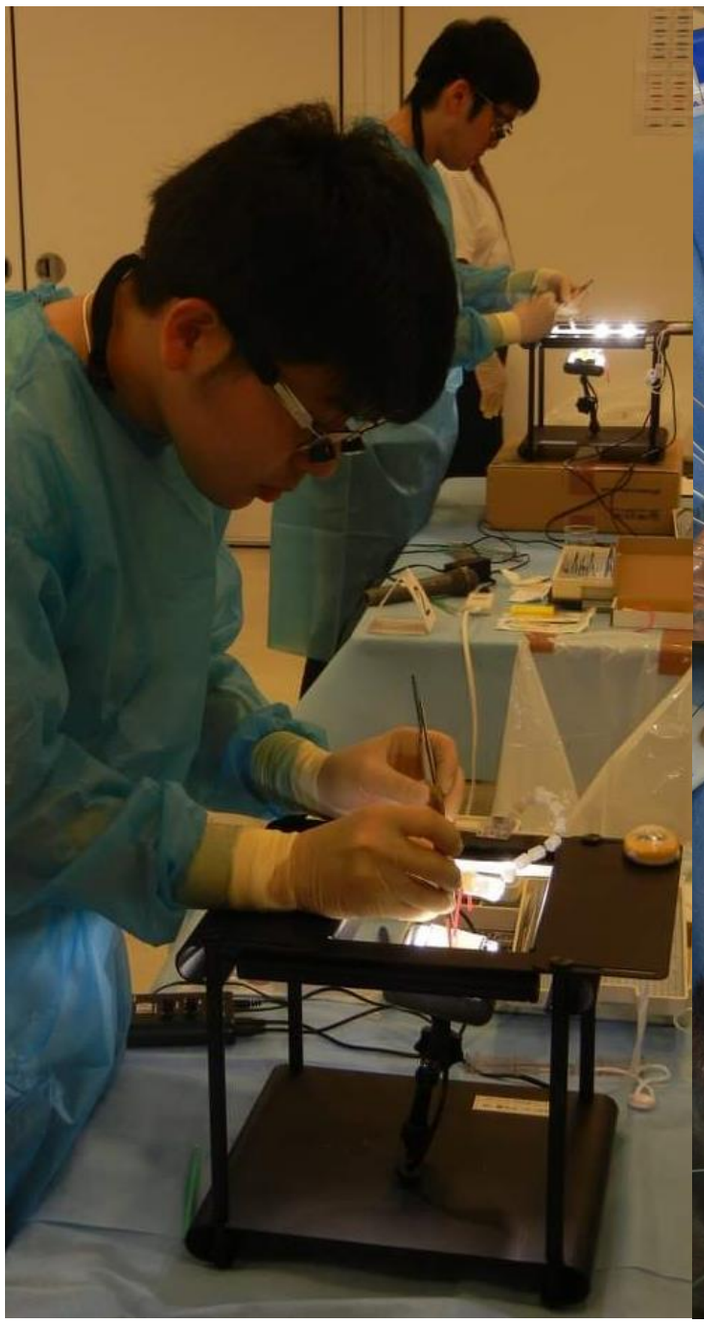
【OFFJT認定要件（2018）】

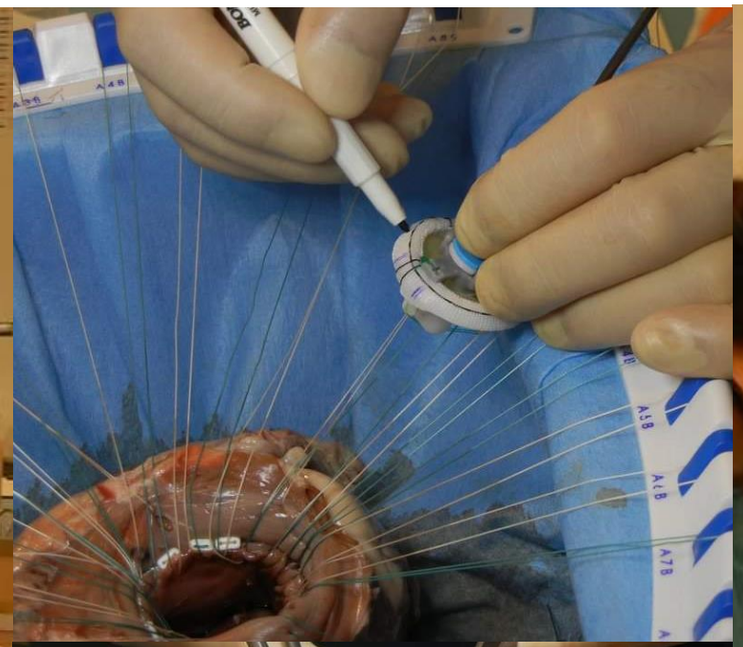
- 患者が対象ではないこと
- 上級医による指導があること
- 外科的手技および補助循環（人工心肺など）操作を含むこと
- 「修練指導者」有資格者が企画・運営に参加していること
- 30分（0.5単位）以上であること
- 医師免許取得後のOFFJTのみが認定される

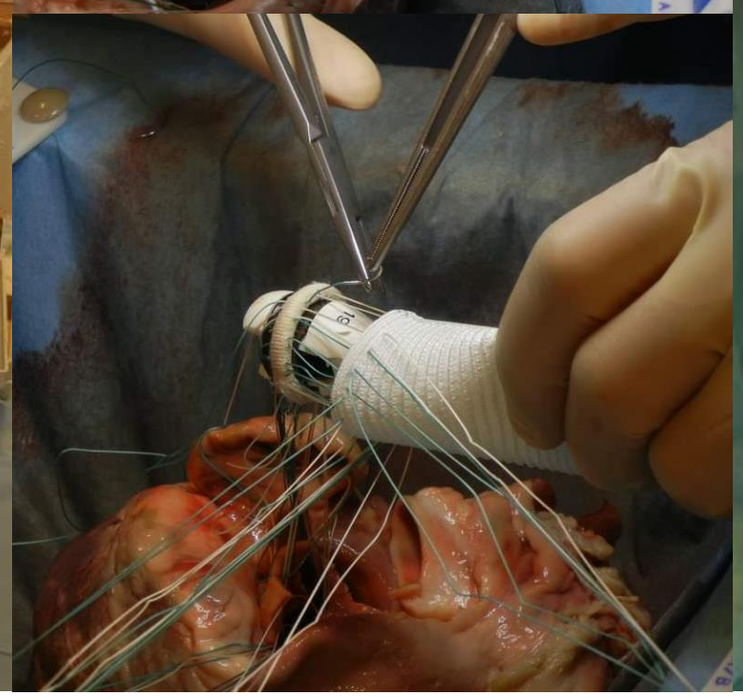
Basic Lecture Course （BLC）

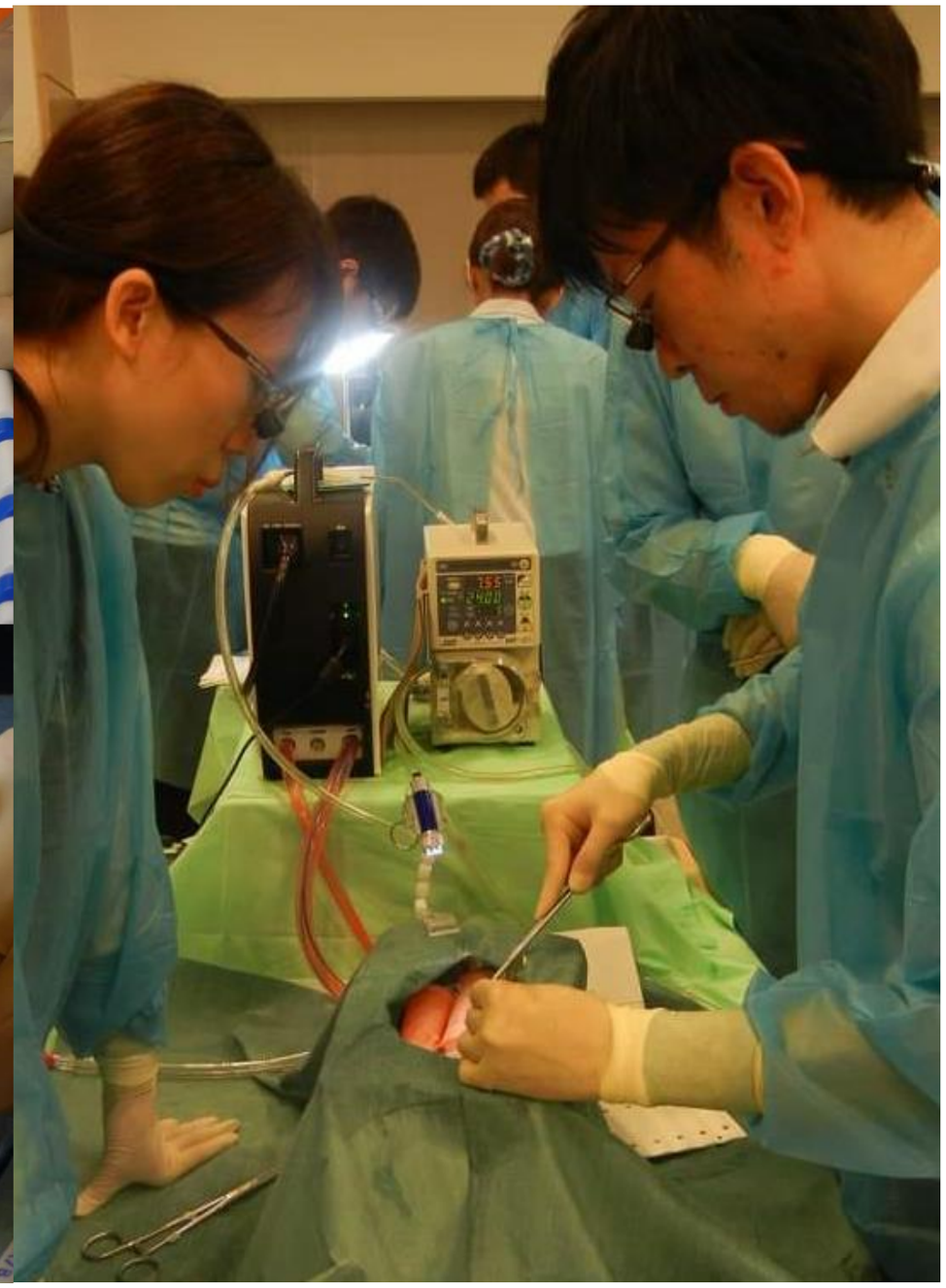
- 全国8支部、それぞれの地域で基本的手技を学べる
- 若手外科医の手術手技、基本的知識の底上げに寄与
- 多くの指導医が指導する
- 新専門医制度となると、Basic Lecture Courseの意義はさらに大きくなる

Basic Lecture Course （BLC）









Basic Lecture Course （BLC）

Advanced Lecture Course (ALC)

- Advancedの手技を学べる
- 各支部Basic Lecture Courseで冠動脈吻合の予選会を行い、1位通過者を集め冠動脈吻合コンテストを行う
- 基本技術から一歩進めた不整脈外科などの手術手技のレクチャーを開催する
- 専門医取得後、指導医になる過程の外科医のためのコースとして位置づける

Advanced Lecture Course (ALC)

U-40 project
ALC

Advanced Lecture Course 2019

Lecture & Competition
・LCX 吻合を中心とした、Advancedなoff pump CABG lecture
・各支部代表のU-40若手外科医のハンズオン、吻合コンテスト
・一般参加者はlecture受講とハンズオン、コンテストの見学
・学会参加中の皆様は是非お越しください

2019年2月10日
9:00-11:30
場所：ホテルグランヴィア岡山

講師（50音順）
小宮達彦　先生（倉敷中央病院）
坂口　太一　先生（兵庫医科大学）
湊 直樹　先生（関西医科大学）
夜久　均　先生（京都府立医大）

Supported by 日本心臓血管外科学会
第49回学術集会
U-40 代表　田中　千陽
U-40 ALCプロジェクトリーダー　吉野　邦彦

U-40

Advanced Lecture CourseではBasic Lecture Courseと差別化し、若手が知りたいこと、勉強したいことを取り入れる

不整脈外科

基部形成

僧帽弁形成術

大動脈弁形成術　などなど..

先天性心疾患プロジェクト

- <u>他団体との連携</u>

  若手の育成に関して学会発表（シンポジウムなど）

  委員会での若手からの意見提言

  ハンズオンを企画中

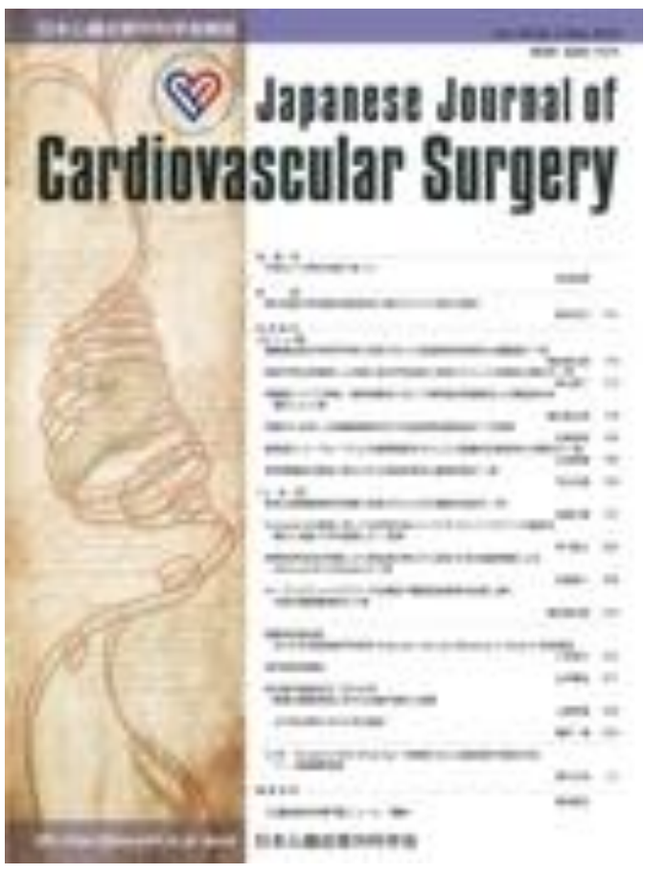
  国内留学の実施を検討中

- <u>先天性心疾患を志望する若手心臓血管外科医の連携</u>

  メーリングリストを用いて、情報を共有する

  地域毎の志望者を把握し、より良い修練環境を目指す

コラム連載
（日本心臓血管外科学会雑誌）



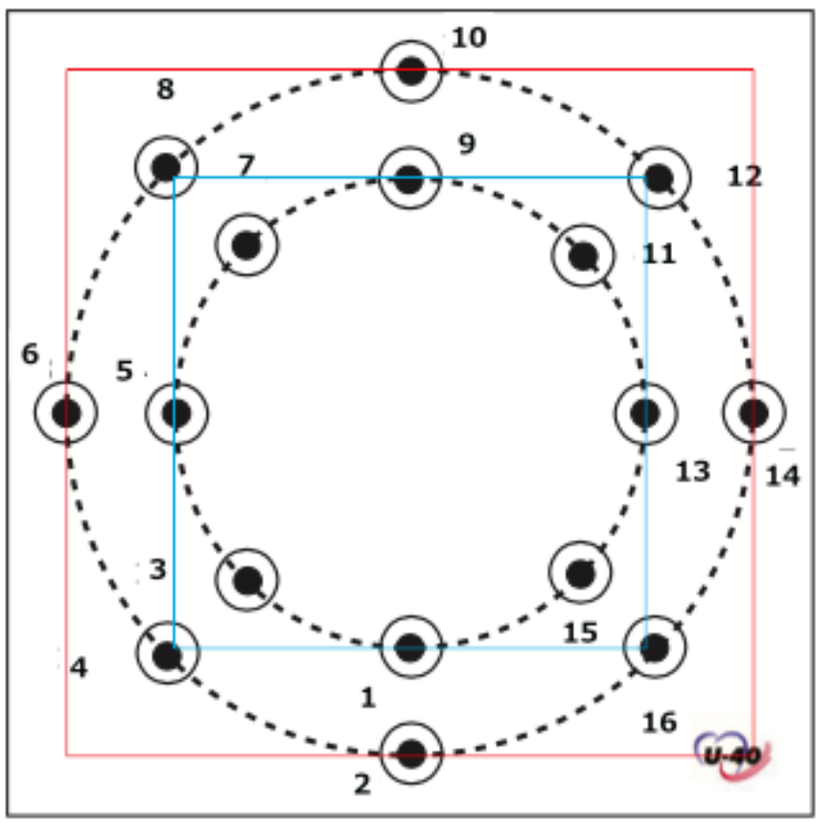
「いまさら聞けない基本手技」
アンケート調査にご協力いただき、
基本手技についてまとめた
→非常に好評で書籍化を予定

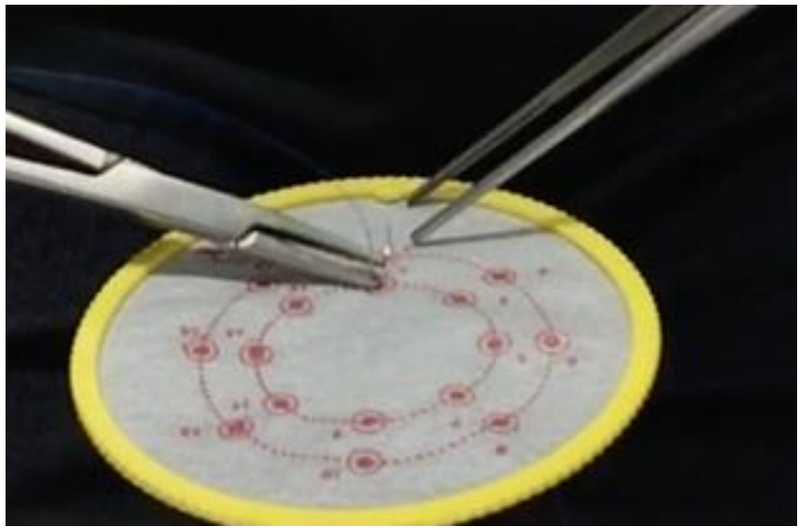
今後は働き方改革、新専門医制度に
焦点をあてる

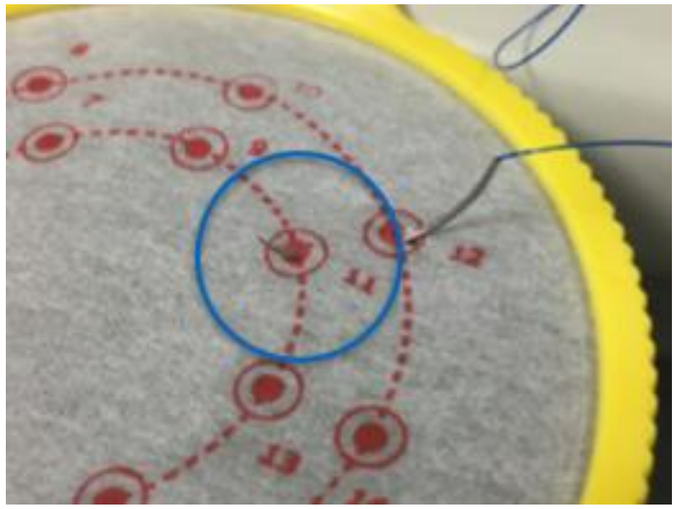
基本手術手技定量化プロジェクト

金魚のポイと判子を用いた
脆弱組織の再現

赤枠が 51mm
青枠が 35mm







Needle Workの正確性の定量化が可能となる
手技定量化は手術、専門医の質の担保につながる

OffJTテキスト
（トラブルケースシナリオ）

U-40も執筆に参加

U-40について知ってほしい

① 日本心臓血管外科学会所属の40歳以下の会員は、全員U-40会員である

② 学会の正式な下部組織であるが、若手の意見を提言する確固たる立場がある

③ 若手主導で、若手がやりたいことを考えて行う

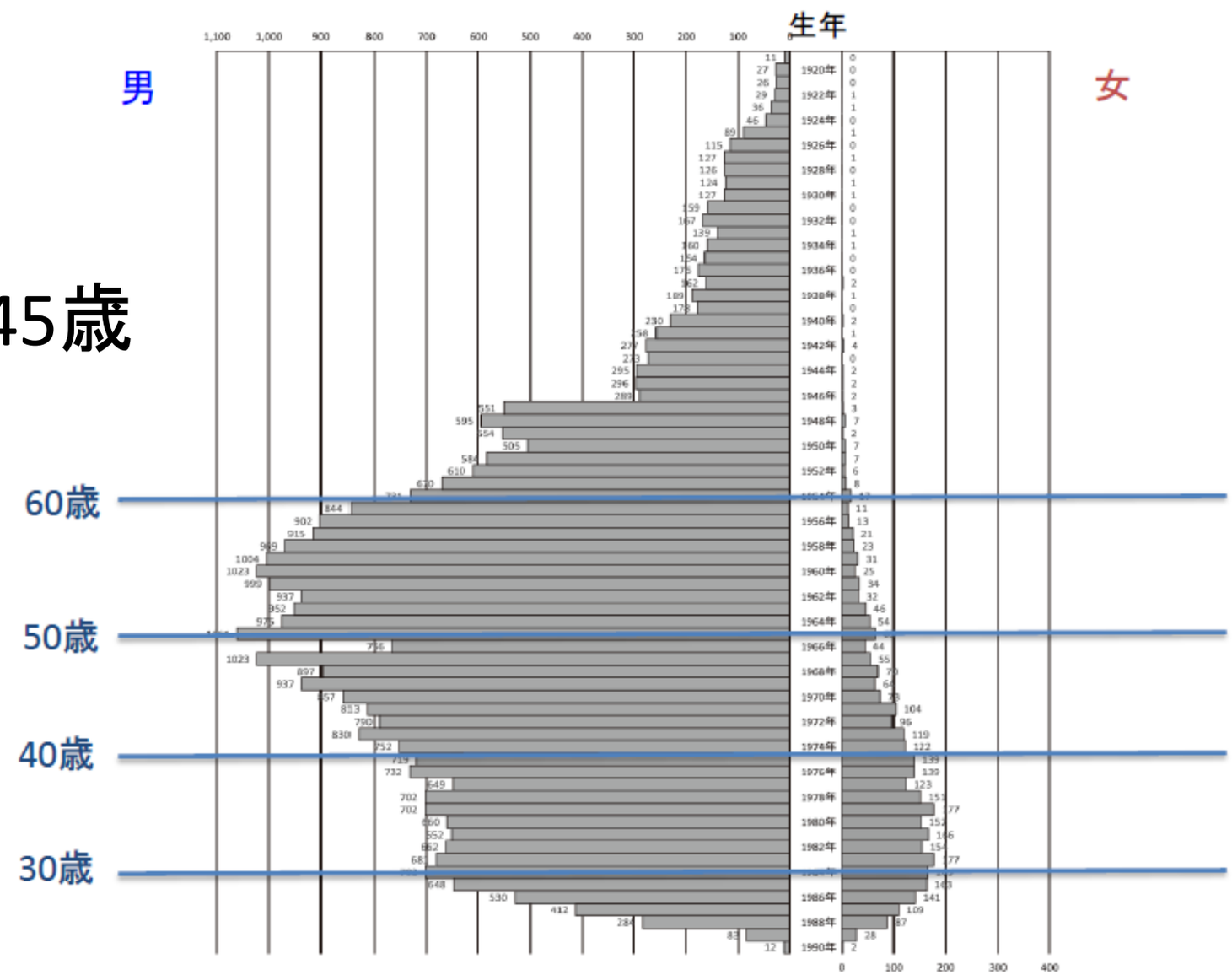
若手を取り巻く問題

近い将来、外科医が不足する
質の高い医療、手術は維持できるのか

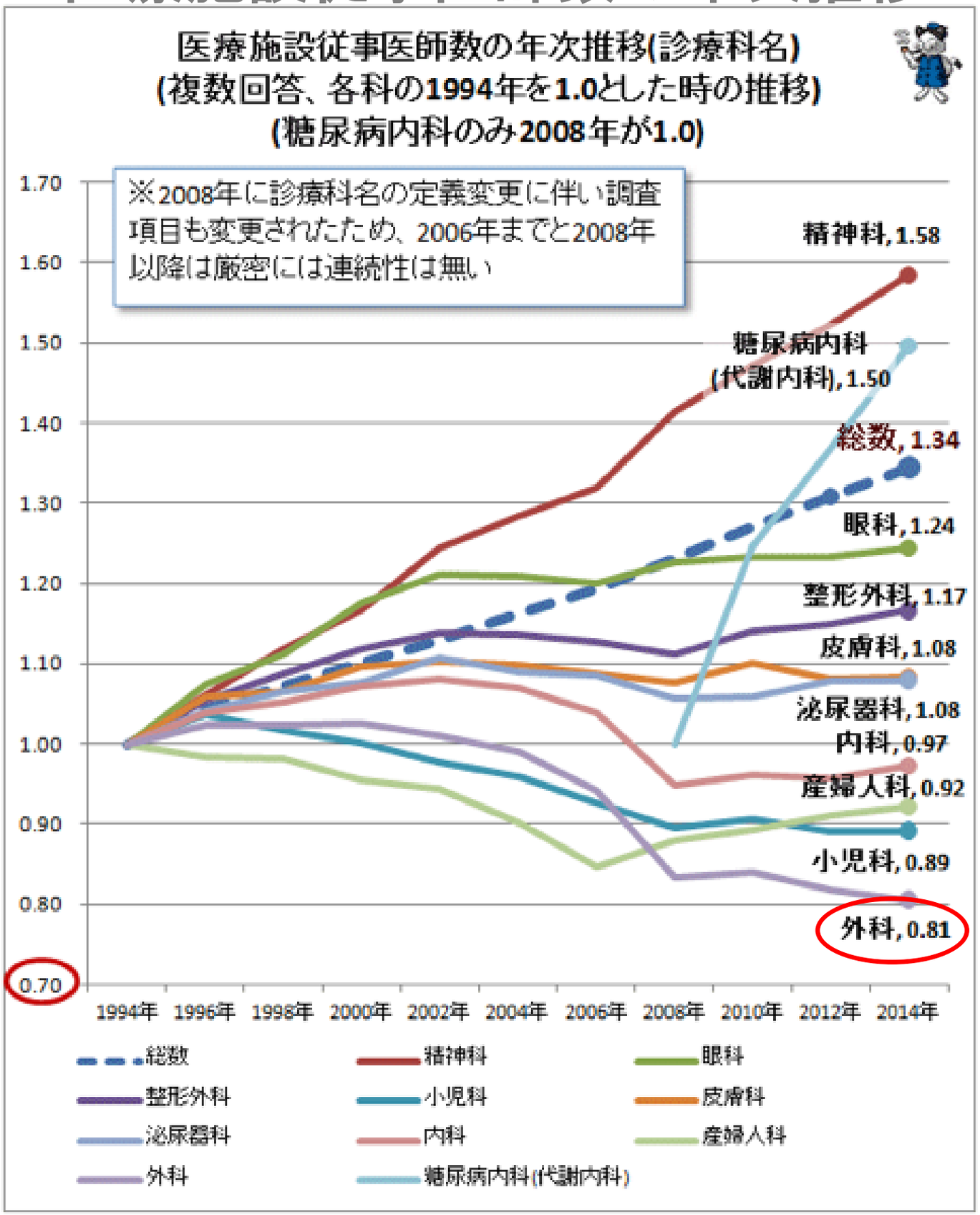
外科医の人口ピラミッド（2012年）

日本外科学会性・年齢別　会員数

平均年齢は45歳



医療施設従事医師数の年次推移



心臓血管外科志望者をふやさなくてはならない

心臓血管外科の職場環境への不満因子を検討したU-40論文

理想的な労働環境達成の Key は何か
―若手心臓血管外科医アンケート結果の分析より―

日尾野 誠, 杉浦 純也, 寺井 恭彦, 小山 明男, 渡邊 隼, 新保 秀人, 北川 哲也, 横山 斉, 上田 裕一, 日本心臓血管外科学会 U-40

日本心臓血管外科学会雑誌　46 巻 (2017) 4 号 p. 149-156

労働環境への不満に寄与する因子

年齢の増加，卒後年数の増加，女性，
外科専門医，血管外科専門医，
大学病院勤務，所属施設勤務日数の増加，
所属病院外の勤務日数の増加，時間外労働時間の増加

不満を抑制する因子

年収の増加，心臓血管外科専門医，
ICU専従医によるICU管理

↓

医師の負担軽減、多職種との協力が重要である

U-40幹事の声
それぞれの施設に望むこと(抜粋)
よりよい修練環境と手術手技向上のために

※U-40幹事へのインタビュー結果を提示する※

Off the Job Training（OffJT）について

- OffJTができる機材を揃えてほしい（特に高額なBEATなど）
- 手術室で余った糸などの再滅菌後の提供を推進してほしい
- OffJTを実践していることを公表してほしい（頻度など含め）
- OffJT情報を全国で統一して閲覧できるシステムを作って欲しい
- 心臓血管外科修練施設の要件に「OJTの環境整備」を入れるのはいかがでしょうか

職場環境について

- 充実した仮眠室、栄養のある食事の提供
  「大好きな仕事を長く続けられるような、心身ともに健やかであれる施設環境は必要だと思います。」
- 売店、風呂等の充実
- ICU専属医、NP/PAなどの導入

指導医について

- 手技の相談ができる上司がいてほしい
- OffJTの一定の基準をクリアしたら手術のチャンスがほしい
- 指導医には定期的に最新の医学教育に関する知見を得てほしい（指導医講習受講など）

「若手はいつでも指導医の背中をみています」

働き方改革導入後は、さらに外科医が必要

どうすればいいのか・・・

Nurse Practitioner（NP）/ Physician Assistant（PA）制度の導入

周術期管理を協働する、医師と看護師の中間の高度診療師。
特定行為に係る看護師は少なく、早急な対策が必要。

施設集約化

本邦では医療施設の数が多く、医師毎の症例数は極めて少ない。
施設集約化は現状では難しいが対策案の一つである。

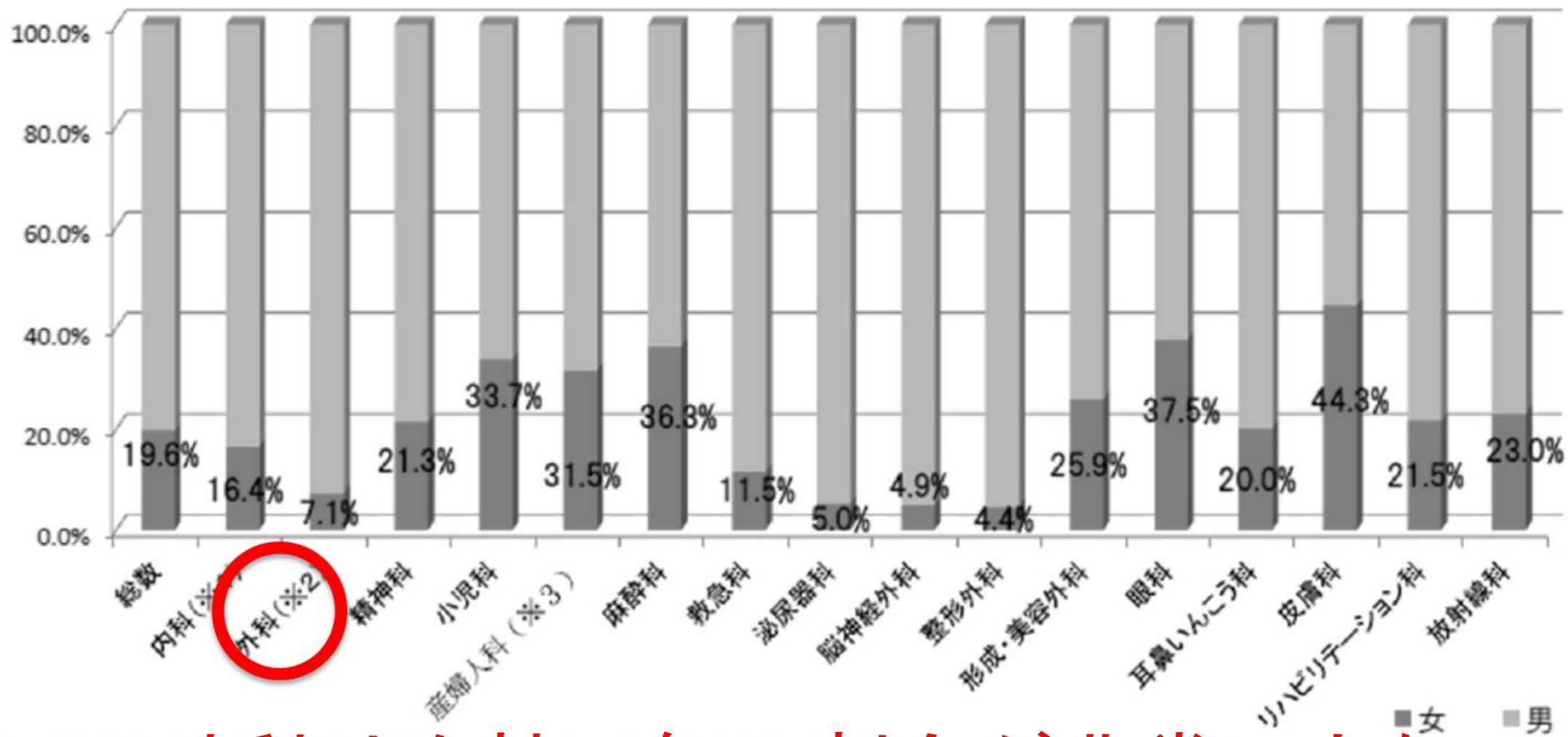
いずれも学会レベルでの対策が必要
しかし将来の働き手である若手の意見集約は重要である

女性医師が増えると外科医不足の懸念が減る

平成24年　診療科別　医師男女比

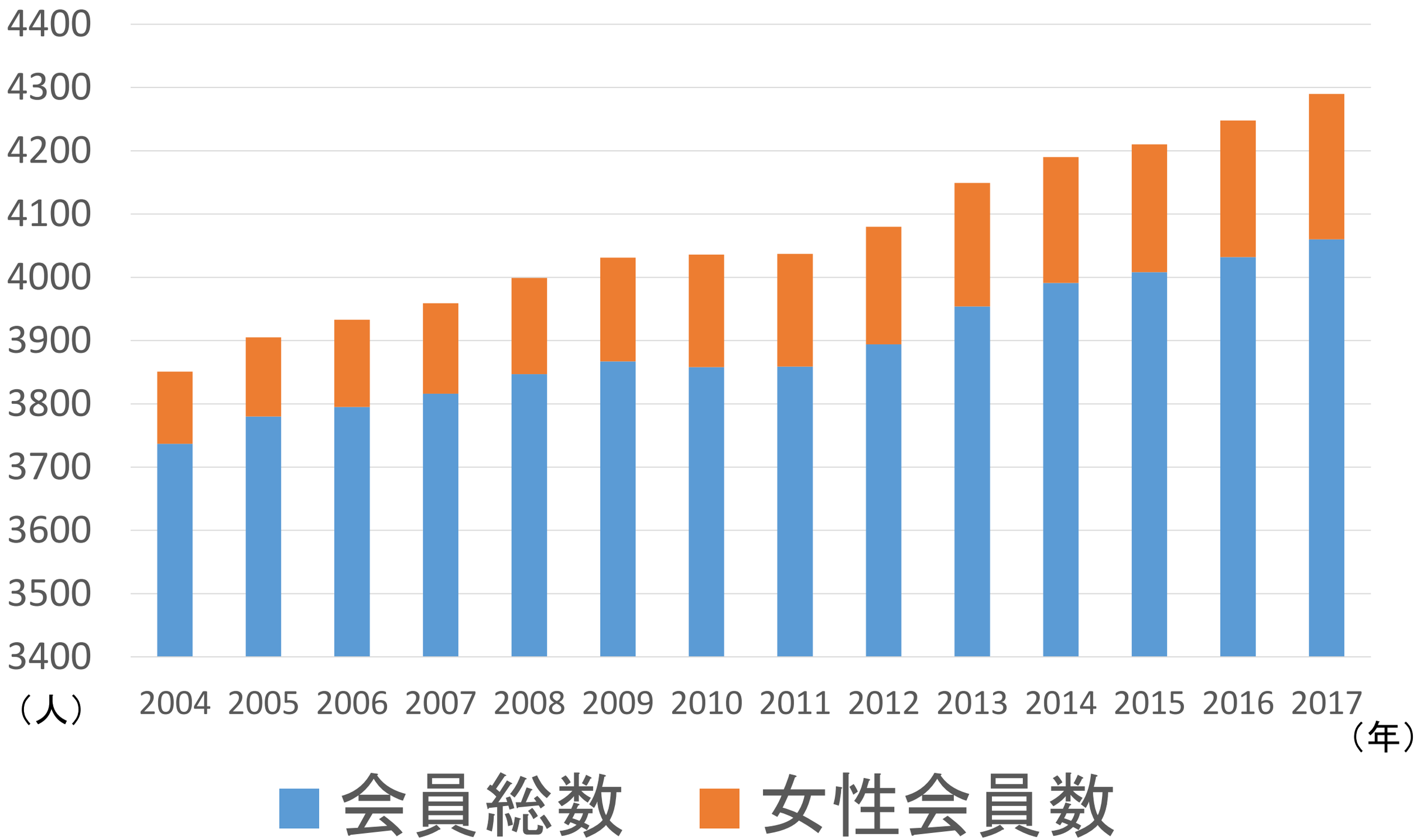
○ 医療施設従事医師数の女性割合は19．6%であり、22年の18．9%と比べて増加している。

○ 皮膚科や小児科、産婦人科といった診療科では女性医師の占める割合は高いが、外科や脳神経外科などの診療科では、非常に低い。



外科は女性医師の割合が非常に少ない

日本心臓血管外科における女性医師の割合



日本心臓血管外科学会女性医師の総数比

少しずつだが年々増えている

男女心臓血管外科医のキャリアについて考えていかなければならない

- 日本心臓血管外科学会の新規会員の女医は増加傾向
- 女医がキャリアを続けることが、心臓血管外科にとって重要

女医がキャリアを続けるために、なにが問題か
どのようなキャリアプランが望ましいか
→ **U-40でアンケートを行う**

若手の今後を考える

若手の歩む道･･･
特に、専門医取得後はどうする････

- 心臓血管外科専門医を取得した後、どのように独立した心臓血管外科医になるのか

- 留学？大学院？

→ 明確な答えはない！
一人ひとりが決めなければならない

より良い修練環境、手術向上のために重要だと思うこと

- 日本国内で独立した外科医の修練ができる環境を作る
- 専門医を取得するときに、必要な知識、技術が身につくような仕組みを作る
- 技術の定量化で手術の質を担保する
- 地域ごとの必要な執刀医の数を把握する

教育施設協議会

×

U-40

- 将来的には外科医不足が懸念される
- どのように外科志望者を確保するか
- どのように独立した外科医を必要な数だけ育てるのか
- 教育施設協議会では大学組織ではない討論や意見集約を行うことができる
- 教育施設協議会と若手との連携は、取り巻く環境に対応する糧となる

↓

将来の医療の質を担保すべく議論を続ける

日本心臓血管外科学会U-40